

浦安に保健所を！署名のご協力をお願いします

浦安には保健所がなく、市川の保健所まで行かなければなりません。このコロナ禍で保健所の果たす役割の重要性が多くの方々に見直され、「保健所に電話が通じない」「浦安市だけを見てくれる保健所が市内にほしい」との声が高まっています。

みせ市議、三輪由美県議、浅野心み子さんと一緒に7月21日、県庁に「浦安市に保健所を」の声を届けてきました。30年前は850もあった保健所は約半分近くに減らされ、病原微生物検査などの業務も縮小し、公衆衛生を増進させる国の責務を、政府自身が先頭に立って後退させてきたことが大元にあります。多くの市民の声で浦安に保健所を設置させましょう。



(東野在住：M.I)

【編集後記】

<世界自然遺産の県に基地はいらない>



辺野古新基地は現場では、7月20日(火)から25日(日)までは台風6号の影響と連休のためすべて工事は休止となった。しかし26日朝9時には工事車両が50台ほど基地内に入った。ゲート前で県民10数人が感染症対策をとり監視活動を行い基地に入る車両の種類積載物をチェックした。ゲート付近では民間警備員約50人と機動隊員約10人が警備に当たっていた。沖縄県統一連の瀬長和男事務局長は「監視する県民は10人ほどなのにその何倍もの過剰警備は許せない。コロナ感染症が再び拡大中だ。政府は違法工事を中止し、コロナ対策に全力をあげるべきだ」と話していた。(※名護共同センターニュースより抜粋)

そうした中26日、希少な国有種が多く豊かな生物多様性が評価され奄美・沖縄が世界自然遺産に登録された。

しかし返還された北部訓練所周辺を調査していた蝶類研究者の宮城秋乃さんの調査で返還地には銃弾や野戦食の袋など大量の米軍廃棄物が放置されていたことが判明。6月4日沖縄県警から米軍北部訓練場ゲート前に返還地の廃棄物を置き、米軍の業務を妨げたとして家宅捜索を受けパソコン、カメラなど不当に押収された。

しかしその後も宮城さんは弾圧にめげず米軍の廃棄物で「やんばるの生き物の命が脅かされている」とSNSで告発を続けています。宮城さん(アキノ隊員)のツイッターをご覧ください。拡散してください。(うるま市在住：T.I)

<私の戦争体験と平和憲法>

1945年(昭和20年)私が小学校に入学する年、戦火はますます激しくなり、東京の街には昼も夜もB29の襲撃があり、焼夷弾が落とされ、炎の海となって、毎日が恐怖の連続でした。

入学式も行われず、学校が引率する学童疎開か、縁故疎開かを選ばなければならず、私たち家族は祖父のいる宮城県に疎開することになり、東京まで祖父が迎えに来てくれました。おかげで3月10日の東京大空襲は体験しませんでした。

小学校1年生で宮城県の小学校に入学しました。まだ1年生だった私にはおぼろげながらの記憶ですが、教科書を先生に言われて墨で塗りつぶしたことははっきり覚えています。

終戦後父の仕事の都合で田舎から市川に転居しました。2~3年生の頃だったと思いますが、学校の先生方が幼い私たちに本当にいろいろなことを話してくれて、学校が明るく楽しかったと記憶しています。特に民主主義のすばらしさ、インドのガンジーの非暴力での抵抗の話、貧しい人や金持ちがいない、全ての人々が平等な世界=共産主義など、私たち幼い小学生はみんな感動して耳を傾けたものでした。

小学5年生のある日突然、大勢の先生たちが学校からいなくなったのです。何か月くらいだったのか、半年くらいだったか、長く感じられました。その間授業はなく自習でした。

大人になってから知ったのですが、それがレッドパージだったのです。

戦争が終わり、新しい憲法が生まれ、若い先生たちはどれほど明るく希望に満ちていたことか。レッドパージは1950年の朝鮮戦争が始まった頃で、たぶんGHQの弾圧だったのではないかと思います。

今、自民党の憲法改悪を進めようという動きに、当時の影が蘇るのではとの大きな危惧を抱きます。平和憲法を守り発展させるための運動を今こそ強めなければと思います。

(高洲在住：K.A)



~ハイキングのお誘い~

○いつ：9月12日(日)
○行先：マザー牧場
○コース：JR 舞浜駅(8:13) → 曾我(8:47) → 佐貴(9:29) → バス → マザー牧場
問い合わせ → ホリデーパスの会

真鍋 Tel & FAX 047-352-7735
MAIL: kmanabe@jcom.home.ne.jp



みせ麻里市議議会報告

コロナ禍と連日の猛暑の中のオリンピック開催。陽性者が急増する中、保健所などからの健康観察連絡が滞っている状況を知り、改善を求めました。

浦安にも保健所の設置を！と、7月21日に千葉県へ要請を行い、署名活動を続けています。

署名のお願いに何うと「保健所は前から浦安に必要と思っていた」と快く応じていただき感謝です。

「オリンピック選手は毎日PCR検査できるのに、国民は症状が無い時は有料で検査受けるなんておかしい」と率直なご意見をいただき、「税務署や法務局も無くて困る」と市民の生活に支障があることを改めて痛感しています。

オスプレイ 7月30日、防衛省に日本共産党千葉県委員会は聞き取りを行いました。浦安市議会の特別委員会があり参加できなかったのですが、木更津市のホームページに7月13日更新で「陸上自衛隊 V-22 オスプレイの今後の運用について」掲載され、詳細を確認したいと思っていました。

木更津オスプレイは8月2日に東富士演習場に飛び、館山や百里基地への飛行も始まる。習志野演習場へは「住宅地の上を飛ぶことから、パイロットの技量向上訓練中の今はまだ無理」と回答。

経験を積んだパイロットも墜落事故で命を落とす欠陥機です。県委員会では墜落の危険が大きいオスプレイの訓練中止と配備撤回を求めました。



ここが危ない！自民党改憲草案

第三章「国民の権利及び義務」→第13条 「個人」が「人」に変えられたらどうなる？

<現行憲法>

すべて国民は個人として尊重される。

↓

<自民党改憲草案>

全て国民は人として尊重される。



●「個人」を「人」に変えるのは大変重要な変更点です。この二つの用語は似て非なるものです。

「個人として尊重される」とは、人種・宗教・性別などを超えて一人ひとりを大切にすることです。この「個人」を「人」に置き換えることによって、個々に独立した個人が尊重されなくなり、国民は国家のための存在に変えられてしまうことになります。

憲法がよって立つところの「近代立憲主義」は、中世までの身分制秩序から「個人」を解放し、自由な意思を持つ自律的個人の「人権保障」を第一義的目的とする考えです。

自民党の改憲草案は、立憲主義の根幹である「個人の人権保障」を正面から否定する大変危険なものです。